

# SDGs への取り組み



## ■ 地域経済活性化への取り組み



### 新産業の創出

#### 創業・新事業開拓支援、ファンドによる支援／キャッシュレス化の推進

県内企業7社（沖縄タイムス社ほか）や県内外の起業家支援機関と連携し、沖縄から革新的で競争力のあるベンチャー企業（スタートアップ）の創出・育成を行う「OKINAWA STARTUP PROGRAM」を実施しています。本プログラムの参加企業（チーム）には、琉球銀行および県内外の起業家支援機関がビジネスプラン熟成のメンタリング等を行い、事業化が見込まれる優れたプランに関しては、BORベンチャーファンドからの出資やパートナー企業とのマッチング等のサポートを実施しています。

また、2015年10月より発行を開始した「りゅうぎんVisaデビットカード」の発行枚数は14万枚を突破し（2020年9月末）、2017年1月より取り扱いを開始した「りゅうぎんカード加盟店サービス」においては、商工会議所・観光協会等の各種団体との提携により加盟店の拡大に取り組んでいます。



### 文化振興

#### りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業／りゅうぎん紅型デザインコンテスト

琉球銀行創立70周年の記念事業として、600年以上の歴史がある漆芸の技術の伝承を支援することを目的に「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を開始しており、2019年度復刻作品および商品開発事業の製品が完成いたしました。

また、伝統文化支援事業として、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品は、琉球銀行がお客様に配布するカレンダーや通帳、広告物等に幅広く活用されています。

また、今後も沖縄の伝統文化の伝承に貢献できるよう、積極的に支援活動を展開してまいります。



「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」完成作品記者会見

## ■ 地域社会および職場における平等の確保



### 地域支援

#### りゅうぎんユイマール助成会／子ども居場所づくりイベント事業助成金

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。

地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成額は1,145件、2億1,924万円となりました。

（2020年9月30日現在）



「子ども居場所づくりイベント事業助成金」贈呈式

# SDGs への取り組み



## 障がい者支援

### 沖縄のアール・ブリュット常設展示ギャラリー

県内特別支援教育関係者を中心に障がい者（児）の創作・表現活動を支援しているアートキャンプ2001の活動基盤づくりの支援として、アート作品を常設展示しています。

本店営業部のロビーにギャラリーを設け、定期的に作品の入れ替えを行い、多くのお客様に見ていただく場を提供しています。

アール・ブリュットとは、既存の美術や文化潮流とは無縁に制作された美術作品の意味で、英語では「アウトサイダー・アート」と呼ばれ、日本では「加工されていない生（き）の芸術」と訳されます。伝統や流行、教育などに左右されず、自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術で、フランスの画家ジャン・デュビュッフェによって考案されたことばです。



## 健康経営

### 敷地内禁煙の実施

公共性の高い地域金融機関として期待される環境を整え、受動喫煙の完全防止を図るため、全本支店を敷地内禁煙といたしました。



## 地球環境保護のための具体的な行動



### 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出抑制

#### オリジナルエコバッグの共同作製

環境保護意識の啓発を目的として、オリジナルエコバッグをT S U B A S Aアライアンス参加行と共同作製しました。

オリジナルエコバッグを琉球銀行グループ全役職員に配布することで、リサイクル意識の向上や海洋プラスチックごみ問題を身近に考えるきっかけとし、「持続可能な環境の保全に貢献する」というT S U B A S A行の共通課題に対応していきます。

T S U B A S Aアライアンスとは、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組みです。  
(2020年9月30日現在)



本店営業部



総合企画部 秘書課



## 自然環境・生態系保護

### 「有性生殖・サンゴ再生支援」活動への参加

沖縄の豊かな海を次世代に引き継ぐために一般社団法人水産土木建設技術センターと日本トランスオーシャン航空株式会社を中心となり設立された「有性生殖・サンゴ再生支援協議会」に協賛企業として活動しています。

有性生殖法とは、より自然に近い形で効率よく受精させ、大量の種苗を生産できる、多様性に富んだサンゴ増殖方法です。

同協議会では、国内で初めて「実用レベルで海域での有性生殖サンゴ増殖」を実施する八重山漁業協同組合を支援します。



有性生殖・サンゴ再生支援協議会